

レンブラントとルオーの銅版画を渋川市に寄贈しました

渋川の土木建設会社・高特と高橋会長

渋川市八木原の土木建設会社、高特の高橋房雄会長(74)と設楽雅之社長(43)が7日市役所を訪れ、市にレンブラントとルオーの銅版画を寄贈した。レンブラントは同社所有、ルオーは高橋さん所有で、「公の機関が管理し、地元の人に楽しんでほしい」と託した。

レンブラントとルオー 銅版画寄贈



高橋さん



設楽さん

「市民に見てほしい」

レンブラントは17世紀を代表するオランダの画家で、寄贈されたのは1633年原出版「帽子とスカーフ」をつけた自画像(陰になった顔)という。高橋さんは美術団体「春陽会」で、渋川市の文化発信のために使わせてもらいたい」と感謝して、市美術館・桑原巨守彫刻美術館の友の会副会

た顔」(縦約13センチ×横約10センチ)。ルオーは蔵では見てもう機会19世紀から20世紀のフランスの画家で、1927年原出版「深き淵より」(版画集「ミセレーレ」第47番)が、今年春社長より、(版画集「ミセレーレ」第47番)を交代したのを機に、約43センチ×横約60センチ)が、市への寄贈を決めたという。阿久津貞司市長は「絵が傷まないよう展示方法を考えながら公開したい。市の文化発信方法を考えながら公開したい。市の文化発信方法を考えながら公開したい。」と感謝して、市美術館・桑原巨守彫刻美術館の友の会副会



レンブラントの「帽子とスカーフをつけた自画像(陰になった顔)」



▲ルオーの「深き淵より」(版画集「ミセレーレ」第47番)

2011年12月8日上毛新聞

レンブラントとルオー作

銅版画2点を寄贈

渋川市八木原の土木建設会社社長、高橋房雄さん(74)らが、所有する17世紀のオランダの画家レンブラントの銅版画と、19世紀のフランスの画家ルオーの銅版画の計2作品を同市に寄贈した。

渋川市美術館に 地元元社会長ら



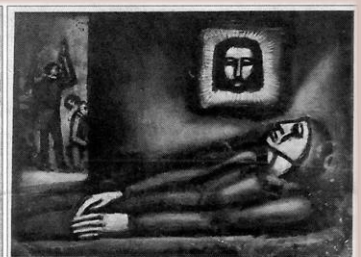
寄贈されたのは、レンブラントの「帽子とスカーフをつけた自画像(陰になった顔)」(縦約13センチ×横約10センチ)とルオーの「深き淵より」(縦約13センチ×横約60センチ)。高橋さんが経営する会社が19年前、約500万円でレンブラント作品を購入し、高橋さん個人で33年前、ルオー作品を約60万円で買ったという。高橋さんらは「お世話になっている地元の人に見てほしい」と寄贈を決めた。2作品は、渋川市美術館で展示予定

2011年12月13日読売新聞

渋川市美術館で展示日は未定ですが、機会がありましたらぜひご覧になってください。



「帽子とスカーフをつけた自画像(陰になった顔)」(132センチ×105センチ)



「深き淵より」(430センチ×600センチ)

レンブラント、ルオー 渋川に 銅版画2点 市に寄贈

市美術館で展示予定 オランダの画家レンブラントと、フランスの画家ルオーの銅版画2点が、渋川市に寄贈された。レンブラント「帽子とスカーフをつけた自画像(陰になった顔)」と、ルオー「深き淵より」(版画集「ミセレーレ」第47番)。市内の版画家で、建設会社社長の高橋房雄さん(74)と同社長の設楽雅之さん(43)が贈った。「自画像」の原画は1633年作で、「深き淵より」は1927年作。それぞれ250万円、60万円で購入し、高橋さん個人と会社が所蔵していた。市は渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館での展示を予定している。

2011年12月14日朝日新聞